学校番号	105

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新成 古文 大学入学共通テスト対策 新装版 みるみる覚える古文単語 330（いいずな書店)、古典の手引き（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では入試問題に対応する古典文法を身につけるために、実践的に様々なジャンルの古文の問題に取り組み、古文の読解力を向上させましょう。
・古典常識、古典文法を復習しながら、初見の古文を読み、内容を理解したうえで現代語訳問題や記述問題に取り組んでいきましょう。

2　学習の到達目標

受験に対応する古文常識、古典文法を身につけさせることを目標とする。
（１）採点原則、採点基準を理解し、解答方法について技術を身につける。【知識・技能】
（２）文章読解力については説話以外の素材文（随筆、日記、物語）にもふれ、問題を解答する経験を積み、問題文に対して理解を深め、文章を読解できるようにする。【思考・判断・表現】
（３） 積極的に出題者の意図を読み取り、出題者の求める解答ができるように受験技術を身につけようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。	・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え を広げたり深めたりすることができる。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方，感じ方、考え方を深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	説話 ［教材］ ［教材］ 沙石集、宇治拾遺物語、今昔物語ほか 動詞、形容詞、形容動詞の復習	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	観察 提出物 定期考査	観察 提出物 定期考査	観察 提出物
	物語、日記 ［教材］ 伊勢物語、更級日記、平家物語ほか 音便、助動詞の復習	a：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	観察 提出物 定期考査	観察 提出物 定期考査	観察 提出物
2	説話、随筆 ［教材］ 十訓抄、発心集、枕草子ほか 助動詞の復習	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	観察 提出物 定期考査	観察 提出物 定期考査	観察 提出物
	日記、物語、和歌 ［教材］ 土佐日記、大和物語、万葉集ほか 助動詞の復習、和歌修辞	a：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	観察 提出物 定期考査	観察 提出物 定期考査	観察 提出物
3	随筆、説話、紀行文 ［教材］ 玉勝間、宇治拾遺物語、奥の細道 助詞の復習	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	観察 提出物 定期考査	観察 提出物 定期考査	観察 提出物
	 ［教材］	a： b[　　]： c：			
		a： b[　　]：			

	［教材］	c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　50　）時間